

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 315

事業名	ひとり暮らし老人給食サービス業務委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3005			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	老人福祉費・3目	
南あわじ市総合計画 施策体系	法的根拠 (法令、条例、要綱等)				
	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		食の自立支援事業の非承認の者であって、75歳以上のひとり暮らし高齢者で見守りが必要であると認められた者及び南淡地区内在住で見守りが必要であると認められたひとり暮らし高齢者。	対象人数(人) 736
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		ひとり暮らし高齢者のうち、特に見守りが必要である者に対し、食生活への安定と安否確認を定期的実施する。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	食材調達や調理が困難であるひとり暮らし等高齢者を対象とする食の自立支援事業の非承認となった75歳以上の高齢者あるいは南淡地区在住の一人暮らし高齢者において地域の民生委員が見守りが必要であると認めた者に対し、週1回あるいは年3回の給食を配達する。		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	南あわじ市社会福祉協議会へ業務委託する。		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (南あわじ市社会福祉協議会)		
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 19 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町時は、独居老人全員を対象に給食を実施していたが、合併後は、「食」の自立支援事業の非該当者を対象に実施。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	対象者数	指標単位			
			人			
	指標説明 (指標算出方法等)	75歳以上のひとり暮らし高齢者で食の自立支援事業非該当者及び南淡地区一人暮らし高齢者				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	711	736	50	0	
	実績値	711	736	50		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
	目標値設定の考え方	南淡地区利用決定者数及び食の自立支援事業見直し非該当者予定数				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	提供食件数	指標単位			
			件			
	指標説明 (指標算出方法等)	対象者への提供食件数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	3,469	4,082	2,000	0	
	実績値	3,469	4,082	2,000		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
	目標値設定の考え方	対象者の提供食件数				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	1,380	1,899	1,575	0	
	委託料	1,380	1,899	1,575	0	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	1,380	1,899	1,575	0	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	92	90	90	0	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	0	
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	0	
年間経費([A]+[B])	1,472	1,989	1,665	0		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	2.0	2.7	2.3	0.0		
受益者人数(736)1人当り経費(千円)	2.0	2.7	2.3	0.0		
経費に関する補足説明	平成20年度から、社会福祉協議会の単独事業として実施するため、委託料は減額となっている。					

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) ひとり暮らし高齢者へのサポートの充実が図られている。							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	17.7	51.0	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 安否確認を兼ねていること。							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	2.1	2.7	33.3	-	
	効率性増減率	%	-	30.5	1132.6	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 社会福祉協議会の事業であり、委託料としてではなく、補助金程度で援助するべきである。(平成18年度400円/食 平成19年度350円/食に減額)							2
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 福祉サービスの充実している現状で過剰サービスになっている気配がある。						
							2
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 食の自立支援事業の非承認者においては介護サービスを受けている者も大半を占めており、ケアマネ等福祉関係者が関わっている場合が多く見受けられる。また、必ずアセスメント調査を行っているため、見守りの必要な者については在宅介護支援センター職員等で行うことは可能であり、次年度からの廃止は止むを得ない。						<p>評価グラフ</p>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	平成19年度から20年度には廃止の方向で段階的措置をとっている。	
(現状維持以外の改善方法)	委託事業を廃止することで、これからの食への支援について、社会福祉協議会との協議を進めていくことにしている。	
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 事業を中止しても、市以外の団体による実施や他の事業で代替することは可能である。	